

(報告事項)

これまでも、これからも

JA胎内市は『自己改革』を進めてまいります。

私たちは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、一定の成果を上げることを目指して、農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について、十分な成果が残せるように、私たちは「自己改革工程表」を策定し、その具体策を各事業年度の計画に盛り込んで進めており、その主だった取り組みと進捗状況を次のとおり報告します。

まだまだ、組合員の皆様の期待・要望に、十分応えきれていない部分はあると思いますが、これからも地域に根ざした協同組合として、組合員の皆様の声を聞きながら、自己改革を進めてまいります。

### 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる取り組み

#### 1. 担い手経営体の面積シェアの拡大

地域農業の担い手の育成・支援に向け、新規就農支援、法人設立支援、園芸導入提案等を実施し、担い手経営体の面積シェアの拡大を図りました。

※目標の対全水田面積の60% (2,100ha) に対し、68.4% (2,394ha)

#### 2. 生涯現役・一生農業運動の展開

多様な担い手の確保・正組合員数の維持・拡大に努めるべく、作物別講習会の開催、直売所生産者視察研修会の開催、直売所生産者との情報共有を図りました。

※目標の正組合員数3,000人以上(累計)に対し、3,109人

#### 3. 園芸生産の拡大

園芸重点品目の生産の拡大を目指し、品目の産地化及びブランド化推進の実施や、人参専門部会を設立しました。行政との販売連携にも努めました。

※目標の重点品目作付面積90haに対し、116ha

#### 4. 米の品質向上と多様な品揃え

土づくり等の情報配信の徹底や、新之助・こしいぶき、ゆきん子舞・つきあかり等の多収性品種の業務用米等、コシヒカリ以外の銘柄誘導、多様な品揃えによる需給拡大を図りました。

※目標のコシヒカリ作付率70%以下に対し、70.7%

### 「地域の活性化」につながる取り組み

#### 1. 直売所を通じた農業と地域経済のパートナーづくり

イベント・キャンペーンの拡充により直売所の来店者の拡大に努めました。

また、イベント開催時における店頭募集や、ポイント還元方法を見直す等、総合ポイント制度を活かした組合員の加入促進を図りました。

※目標のポイント会員数5,800名に対し、6,387名

#### 2. 准組合員や地域住民にも参加いただける収穫感謝祭等JAイベントの開催

地産地消「春のランチフェア」や秋の「総合展示会」「お楽しみ収穫感謝祭」を開催したり、広報強化の一環としてSNSを利用した情報発信を開始し、若者層をはじめ広く管内にJAをPRしました。